

平成 29 年度事務事業評価の総括

1 事務事業評価結果

- (1) 総事務事業数 594 事業
- (2) 評価対象外事務事業 98 事業 ※人件費、還付金、繰出金など
- (3) 評価対象事業数 496 事業

※ () 内は前年度数値

事業の方向性		内 容	事業数	構成比(%)
現 状 維 持		現状維持の状態で事業を継続するもの	403 (404)	81.2 (81.8)
見直し	拡 大	対象の拡大や手段の充実により事業を拡大するもの	26 (30)	5.3 (6.1)
	改 善	事業の実施方法や内容などを見直し改善するもの	27 (28)	5.5 (5.7)
	縮 小	対象や手段の絞込みなどにより事業を縮小するもの	7 (3)	1.4 (0.6)
	統 合	目的が関連・類似する他の事業と統合するもの	16 (22)	3.2 (4.4)
廃止・休止		社会情勢の変化等により事業を廃止もしくは休止するもの（当初の計画どおり終了するものを含む）	17 (7)	3.4 (1.4)
計			496 (494)	100.0 (100.0)

事業の方向性を「現状維持」とした事業は 403 事業で、構成比が 81.2%となり、前年度の 81.8%に比べ 0.6 ポイント低くなりました。また、「縮小」とした事業は 7 事業で、構成比が 1.4%となり、前年度の 0.6%に比べ 0.8 ポイント高くなりました。

全体では、事業の方向性を「見直し」、「廃止・休止」とした事業の割合が 18.8%となり、前年度の 18.2%に比べ 0.6 ポイント高くなりました。

なお、事業の方向性が「見直し」、「廃止・休止」となった事業については以下のとおりでした。

【拡大】26 事業

施策名	事務事業名
緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	街路樹維持管理事業
	都市公園整備事業
生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	健康教育事業
	予防接種事業
	母子保健指導事業
	地域包括支援センター運営事業
	生活支援体制整備事業
文化・芸術に親しみ、育むまち	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業
安全で快適な住環境が整ったまち	区画整理指導・支援事務
	地区施設整備事業
	住宅・建築物安全ストック形成事業
効率的で安定的な農業を育むまち	農業経営基盤強化事業
	地場産業振興事業
にぎわいと交流のあるまち	駅周辺整備事業費
安心して子どもを産み、育てられるまち	保育園運営事業
	児童育成計画推進事業
	放課後児童健全育成事業
	児童扶養手当事務
	不妊治療費助成金事業
	家庭教育地域活動推進事業
豊かな心と個性が輝くまち	みよし市教育支援センター事業
市民サービスを高める行政運営の推進	あいち電子自治体推進協議会システム運用事業
健全で安定した財政運営の推進	農地管理システム維持管理事業
	建築確認等事務
	市営住宅維持管理事業
	政務活動費交付事業

【改善】27 事業

施策名	事務事業名
みんなで助け合える福祉のまち	総合福祉フェスタ開催事業
	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業
生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	保健対策推進事業
	健康診査事業
	妊産婦・乳児健康診査事業
生きがいを持って楽しく暮らせるまち	図書館学習交流プラザ管理運営事業
安全で快適な住環境が整ったまち	防災計画策定見直し事業
	災害対策用品購入事業

施策名	事務事業名
誰もが安心して出かけられるまち	公共交通推進事業
地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち	消費生活啓発事業
にぎわいと交流のあるまち	ビジターセンター管理事業
多様な文化に親しみ、ふれあえるまち	多文化共生推進事業
豊かな心と個性が輝くまち	みよし市教育振興基本計画推進事業（みよし市教育基本計画推進事業）
	奨学金支給事業
誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進	明知下ふるさとふれあい広場管理事業
	拠点施設整備事業
市民サービスを高める行政運営の推進	議会会議録作成事業
	職員採用事務
	人事異動事務
その他	総合計画事務
	人事・給与システム維持管理事業
	職員互助会補助事業
	職員福利厚生事務
	職員健康管理事業
	電算システム管理運用事業
	契約事務
鳥獣捕獲等許可事務	

【縮小】 7 事業

施策名	事務事業名
みんなで助け合える福祉のまち	デイサービスセンター運営管理事業
生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	退職被保険者等療養給付事業
	退職被保険者等療養費支給事業
	退職被保険者等高額療養費支給事業
	退職被保険者等高額介護合算療養費支給事業
にぎわいと交流のあるまち	複合施設建設事業
豊かな心と個性が輝くまち	中学校施設整備事業

【統合】 16 事業

施策名	事務事業名
環境と人にやさしいまち	コミュニティ・プラント維持管理事業
みんなで助け合える福祉のまち	日常生活支援事業
	なかよしサロン事業
	福祉有償運送運営協議会設置運営事業
生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	通所型介護予防事業
	訪問型介護予防事業
文化・芸術に親しみ、育むまち	図書館施設管理事業
生涯スポーツができ、健康で元気なまち	地区スポーツ委員会運営事業
	みよし市カヌー協会補助事業
	カヌー競技全国大会補助事業
	桜マラソン大会補助事業
	みよし市ウォーキング協会補助事業
生涯スポーツができ、健康で元気なまち	地域対抗ソフトボール大会開催事業
	みよし市体育祭実行委員会補助事業
	川淵三郎杯学校対抗サッカー大会開催事業
誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進	男女共同参画交流ネット事業

【廃止・休止】 17 事業

施策名	事務事業名
みんなで助け合える福祉のまち	在宅介護支援センター運営管理事業
生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	7022 推進事業
	後期高齢者支援金事業
	後期高齢者拠出金事務
	前期高齢者納付金事業
	前期高齢者拠出金事務
	老人保健拠出金負担事業
	介護納付金負担事業
	高額医療費共同事業医療費拠出事業
	保険財政共同安定化拠出事業
	二次予防事業の対象者把握事業
生きがいを持って楽しく暮らせるまち	勤労青少年ホーム施設管理事業
	学習交流センター管理事業
	ふれあい交流館管理運営事業
にぎわいと交流のあるまち	中心市街地基本構想策定事業
誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進	三好丘交流センター管理運営事業
その他	臨時福祉給付金給付事業

2 事務事業評価結果の当初予算への反映状況

平成 29 年度評価対象 496 事業のうち、30 年度に予算化された 459 事業について、事務事業評価の結果（事業費の方向性）が反映された割合は、78.2%でした。

反映割合について、前年度の 79.7%と比較すると 1.5 ポイント低くなりました。

第 6 次行政改革アクションプランでは 80%以上の反映割合を目指しており、今後も達成・維持できるよう取組を継続していく必要があります。

また、事業費の方向性別の当初予算への反映割合については、以下のとおりでした。

事業費の方向性	H29 年度評価対象事業 のうち H30 年度に予算 化された事業数 (A)		反映割合 (B÷A)
	うち事業費の方向性が 一致した事業数 (B)		
現状維持	309	246	79.6%
増額	77	57	74.0%
減額	73	56	76.7%
計	459	359	78.2%

なお、評価結果と 30 年度当初予算における事業費の方向性が異なる事業は、100 事業で理由は以下のとおりでした。

反映できなかった理由	事業数	構成比
実績による事業費の精査	28	28%
経費の上昇	6	6%
経費削減努力	6	6%
事業内容の変更	20	20%
事業の追加	25	25%
事業の削減	4	4%
その他	11	11%
計	100	100%